

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、強い米経済指標を受けてドル全面高の展開となったことから、レアル安が進行。4月初旬以来となる3.15台前半で取引を終えた。公表された4月耐久財受注は前月比0.5%減となったものの、設備投資の先行指標となるコア資本財受注(除く航空機)は前月比1.0%増と市場予想を上回った(3月分も0.5%減から1.5%増へ上方修正)。この他、4月新築住宅販売は前月比6.8%増、5月消費者信頼感指数も95.4と軒並み強い数字を記録。イエレン議長が、「予想通り経済が改善すれば年内利上げが適切になるであろう」との見解を示したことに加え、クリーブランド連銀メスター総裁も25日に同様の趣旨の発言を行ったことで、マーケットでは再び年内利上げ観測が台頭している(一方、FRB副議長のフィッシャー氏は昨日、「海外の成長が予想よりも弱い場合、それに伴う米経済への影響から、金融緩和策解除のペースは海外の成長が予想通りであった場合よりも遅れる可能性がある」と指摘している)。

中銀が公表した4月経常収支は69億ドルの赤字となり、赤字幅は3月の58億ドルから拡大(一方、海外直接投資(FDI)は58億ドルと前月対比増加した)。4月までの1年間の経常赤字がGDPに占める割合は4.5%と前月とほぼ同水準に留まった。また、ブラジル国内ではインフレ率に代表される指標の悪化に加え、一部でLevy財務相が先週公表した歳出凍結を巡って閣内で意見が分かれているとの見方が浮上。米利上げ観測がレアルの重石となる中、仮に財政緊縮策に関する不透明感が強まれば、再度レアル相場が大きく動意付く展開が想定されるため、注意を要したい。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月25日	5月26日	前日比	4月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,22	39,04	-0,18	40,31	-1,27
USD / BRL Spot	BRL	3,0973	3,1535	+0,0562	2,9513	+0,2022
USD / JPY Spot	JPY	121,56	123,10	+1,54	118,99	+4,11
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.609	53.630	-979	56.594	-2.964
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	221,9	230,9	+9,0	222,8	+8,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,27	12,36	+0,09	12,64	-0,28
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,72	13,60	-0,12	13,59	+0,01
3 Months US Dollar Libor	%	0,285	0,285	+0,000	0,279	+0,006
CRB Index (国際商品指数)	Index	225,6	221,7	-3,9	224,1	-2,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

